

令和4年(2022年)6月21日

小田原市立小学校の保護者の皆様へ

小田原市教育委員会

夏季における児童生徒のマスク着用及び熱中症予防対策について（お願い）

日頃から本市の学校運営にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この度、文部科学省並びに神奈川県教育委員会から夏季における児童生徒のマスク着用の対応について改めて通知がありましたので、熱中症対策を優先したマスクの取扱いについて、お知らせいたします。

学校での基本的な感染症対策は引き続き徹底する必要がありますが、熱中症リスクが高くなる**夏季における児童生徒のマスク着用については、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時は、熱中症対策を優先し、原則としてマスクを外すこととします。**

**その上で、できるだけ距離を空ける、近距離での会話を控えるなどの感染防止対策を実施します。**

なお、お子様がマスクを外せない場合は、事前に連絡帳で担任までご連絡ください。

また、併せて学校における熱中症予防対策の対応について、次のとおりいたしますのでご理解とご協力をお願いいたします。

#### <夏季においてマスク着用の必要ない場面>

- 1 体育の授業や休み時間等に身体を動かす活動
- 2 登下校時

\*マスクを外した時は、できるだけ距離を空ける、近距離での会話を控える、屋内の体育館等の場合は常時換気を徹底するなどの必要な感染防止対策をとります。

\*休み時間等に身体を動かす活動の例として、離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊びが挙げられます。

#### <熱中症予防対策について>

##### 1 生活リズムを整え、適度な運動習慣や食事を欠かさないこと

- (1) 朝ごはんは頭と体を目覚めさせ、1日の活動に向けて体調を整えるために欠かせません。朝食を抜くと熱中症になりやすくなりますので、朝食は毎日摂ってから登校させてください。
- (2) 寝不足による体調不良が無いよう、早寝・早起きをさせてください。

##### 2 登校時、各ご家庭でご準備いただきたいこと

- (1) 手拭き用と汗拭き用として2枚以上のハンカチやタオルを持たせてください。(暑い時には水で濡らし、身体を拭くこともできます。)
- (2) こまめな水分補給ができるよう、水分は多めに持たせてください。(水筒の中身が足りなくなったら、学校の水道水を補給します。)

### 3 必要に応じて、各ご家庭の判断で持たせてもよいもの

- (1) 2倍希釈のスポーツドリンクまたは0.1～0.2%の食塩水（水10に食塩2～3g）
- (2) 直射日光や紫外線を避けるための「日傘」や薄めの色の傘（黒色のものは熱がこもり熱中症になりかねませんので、ご注意ください。）
- (3) 「冷やしタオル」や「冷やしスカーフ」などの「冷却・冷感グッズ」（登下校や校外学習のみ）
- (4) 直射日光や紫外線を避けるための帽子

### 4 熱中症警戒アラートについて

- (1) 熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に、環境省・気象庁が新たに暑さへの「気づき」を呼びかけ、国民の熱中症予防行動を効果的に促すための情報提供です。
- (2) 体育や部活動等の身体を動かす活動の際に、学校は活動場所で暑さ指数（WBGT）を測定して対応を判断します。そのため、神奈川県にアラートが出ている場合でも、活動場所における暑さ指数（WBGT）から判断したうえで、体育等を実施する場合がありますのでご承知ください。

### 5 その他

熱中症対策のため、教室では冷房を使用します。夏場にだるさや手足の冷え、頭痛や胃腸症状等が出やすい人は、長そでの羽織れる衣服を持参させてください。

### <夏季における下校時の対応>

- 1 下校時に気温が33℃を超えた場合、学校からフェアキャスト等で“水分補給をさせながら下校させます”“安全に帰宅できるよう、ご自宅にいらっしゃる保護者の方々も見守り等をお願いします”などの連絡をすることがあります。
- 2 学校は児童の健康状態を確認し、まっすぐ帰宅するよう指導し、水分補給をしてから下校させます。
- 3 健康状態等から1人で下校させることが困難と判断した場合は、児童を保健室で待機させ、保護者に迎えを依頼します。

※学校から自宅までが遠い場合や、帰宅先が自宅以外となる場合など、個別の対応が必要な場合は事前に学校へ相談してください。

※なお、学校により対応が異なる場合もありますのでご了承ください。

（ 問い合わせ先  
学校安全課 33-1691 ）